

国東半島エリア

日本遺産 鬼が仏になった里「くにさき」
「くにさき」の鬼は人々に幸せを届けてくれる。一般に恐ろしいものの象徴である鬼だが、「くにさき」の鬼は人々に幸せを届けてくれる。修正鬼会の際、共に笑い、語り、酒を酌み交わす。「くにさき」では人々を鬼が長寿の友のように慕われる。

古来より不思議な力を持つとされた鬼。国東半島を1つの寺に立てた六郷満山では、僧侶達が鬼の出る洞窟に道標で修行をし、鬼が怖むとされた霊障に「怪籠」と呼ばれる寺院を抱いた。くにさきの洞窟遺跡は、鬼が社がなくても、霊障の洞窟に手を合わせる。そんな山奥文化が千年以上続く「くにさき」では、年に一度の「修正鬼会」で鬼と出会う。鬼面を持って荒々しく舞う鬼。人々は笑って迎え入れ、共に語り、酒を酌み交わす。「くにさき」の鬼は五穀豊熟、無病息災などの幸せをもたらしてくれる。「くにさき」では、怖い鬼でも仏となっており、人々の願いを叶えてくれる。



岩寺正鬼会(国東市)



宇佐神社六郷満山31霊場札所ピックアップ
熊野窟産仏
山中にある岩壁に、日本最大級のスケールを誇る不動明王(8m)と大日如来(6.8m)が刻まれています。平安朝時代の作といわれており、国の重要文化財・史跡に指定されています。

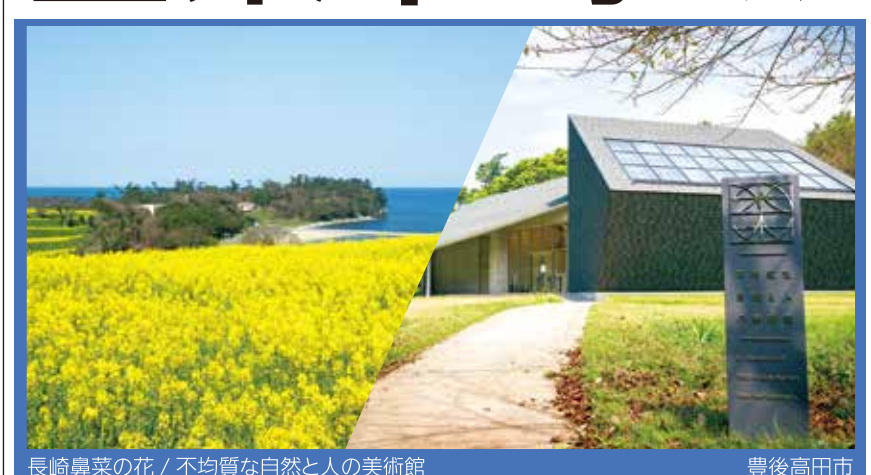
大蔵院(おほぞんいん)
中世の六郷満山を結集していた寺院。寺宝の木造太閤天香や前松法師様は重要文化財に指定され、六郷満山にはその奥深さを知るにはいけません。戦国時代には大友氏の重臣・忠弘公が城主を務め、寺院後方の龍山山頂にはその重臣が築いた屋山城跡が残されています。

両子寺仁王像
古くは夢遊の洞窟に開け、仲形の力強い石壁の仁王像が立つ。六郷満山仏教文化を代表する寺院です。秋には紅葉で美しく彩られます。

大奈代寺
日本最大級の仁王像が、大奈代寺に祀られています。仁王像は、大奈代寺のシンボルであり、大奈代寺の歴史を語る重要な存在です。



国東半島エリア



長崎県の花 / 不均質な自然と人の美術館 豊後高田市



軒屋の坂 杵築市



日千燈寺跡 国東市



日出城址 日出町



姫島灯台 姫島村



日出城址 日出町



日出城址 日出町

